
「日本インターベンショナルラジオロジー学会における症例登録データベース事業」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等
を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人
の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になる
ことは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年9月1日以降に総合医療センターにて画像誘導下にカテーテルや専用針などを用いて行
われた治療や検査（画像下医療、インターベンショナルラジオロジー）を実施した患者さんを対
象としております。

2. 研究の目的

インターベンショナルラジオロジー（以下 IVR）はレントゲンや CT などの画像誘導下にカテー
テルや専用針を用いて行う治療や検査で、患者さんの体に優しい低侵襲な治療として国内・海
外に普及しています。しかし、その治療・検査の実態を十分に把握できていない現状がありま
す。そのため、本研究では、国内の IVR を統括する日本 IVR 学会が国内の施設において実施さ
れた IVR の症例情報を集計・登録するシステムを整備し情報を収集することによって、IVR 診療
の現状を明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後に開始する予定です。終了年限は設けていません。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

IVR の実施日時、年齢・性別、IVR 術式、病名、手技時間、使用機器、等

※この研究で得られた患者さんの情報は、総合医療センターにおいて、研究責任者である宮崎
将也が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプラ
イバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院の電子カルテや放射線部門情報システムなどに保存されている診療記録などから上記の情
報を取得します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者：吉川公彦（奈良県立医科大学）

実務責任者：中塚誠之（慶応義塾大学）
日本インターベンショナルラジオロジー学会
学会ホームページ <https://www.jsir.or.jp>

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関>【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮 好文

<提供先機関>【日本インターベンショナルラジオロジー学会】 理事長 山門亨一郎

5. 試料・情報の提供方法等について

対象症例に関する情報を、インターネット経由で日本 IVR 学会症例登録データベースに登録します。施設内 ID から匿名化した管理 ID を生成し、データベースに登録します。サーバーとの通信は、SSL を用いて保護します。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 画像診断科・核医学科 宮崎 将也

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3509（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：日本インターベンショナルラジオロジー学会における症例登録データベース事業

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 画像診断科・核医学科 宮崎 将也